
九州運輸局メールマガジン 平成 29 年 12 月 21 日 第 373 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。

次回の定期発行日は平成 30 年 1 月 4 日（木）です。

◆ 目次

1 現場レポート

- ・ JR 貨物 鳥栖貨物ターミナル駅で鉄道コンテナ施設等見学会を開催しました～モーダルシフトの推進に向けて～
- ・ 南阿蘇鉄道へ義援金を贈呈～南阿蘇鉄道全線復旧に向けて～
- ・ 小学生・工業系高校生を対象に帆船「海王丸」の見学会を実施しました

2 お知らせ

- ・ 「公共交通事故被害者等支援フォーラム」を開催します
- ・ 大分市で「企業物流セミナー」を開催します
- ・ タクシーの事前確定運賃の実証実験結果について～約 7 割の利用者がまた利用したいと回答～
- ・ 平成 30 年 1 月から「相乗りタクシー」実証実験開始～相乗りで、タクシー利用を割安に～

3 投稿の間

《イベント案内》

- ・ 「観光×IoT×知財」シンポジウムを開催します

4 九州運輸局ホームページアップ情報

- ・ 報道発表
- ・ お知らせ
- ・ 更新情報

1 現場レポート

◆ JR 貨物 鳥栖貨物ターミナル駅で鉄道コンテナ施設等見学会を開催しました～モーダルシフトの推進に向けて～

◎九州運輸局では、11 月 29 日（水）、日本貨物鉄道株式会社九州支社との共催並びに公益社団法人鉄道貨物協会、九州地方通運業連盟の協賛により、日本貨物鉄道株式会社鳥栖貨物ターミナル駅（佐賀県鳥栖市）において、平成 29 年度第 3 回「鉄道コンテナ施設等見学会」を開催しました。

◇内容

- ・ 施設見学会には、荷主やトラック事業者、倉庫業者等の担当者 10 名が参加。
- ・ 現地見学に先立ち、貨物鉄道輸送を利用することによる環境の取組や事業経営における企業メリット、モーダルシフト推進に関する施策や鉄道コンテナ輸送の概要、鉄道貨物を一定の割合以上利用する場合のエコレールマーク認定制度など、関係企業が連携して取り組むモーダルシフトの方策等の説明を行いました。

・現地見学では、12 フィートドライコンテナ（側面・妻面開き、通風）や保冷コンテナ、31 フィートウイングコンテナ等各種鉄道コンテナの構造に関する説明、また、荷役方法や輸送の安全性等の説明が行われました。

・意見交換の時間では、参加者から鉄道コンテナ輸送にかかる経費・輸送時間に関する質問や輸送能力増強の要望が寄せられる等、大変有意義なものとなりました。

◇九州運輸局からのメッセージ

・モーダルシフト政策を推進している国土交通省では、その中でもCO₂排出量の少ない鉄道コンテナを有益なツールとしてその利用を推奨しており、そうした取組の一環として九州運輸局ではJR貨物との連携により見学会を開催しています。

・また、平成 28 年 10 月に施行された改正物流総合効率化法に基づき、物資の流通に伴う環境負荷の低減及び流通業務の効率化、省力化にかかる取組を支援しており、モーダルシフト等の取組に関する補助制度等もご用意しております。

・今後も、モーダルシフトの促進はもとより、物流事業者の方々にとってビジネスチャンスとなるよう施設見学会等様々な取組を行ってまいります。

（交通政策部 環境・物流課）

◇鉄道コンテナ施設見学会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_373_1.pdf

◆南阿蘇鉄道へ義援金を贈呈

～南阿蘇鉄道全線復旧に向けて～

◎「鉄道の日」九州実行委員会（九州運輸局と九州管内の鉄軌道会社 18 社で構成）は、南阿蘇鉄道へ「南阿蘇鉄道全線復旧義援金」を贈りました。

（鉄道部 計画課）

◇義援金贈呈の内容等詳細は、こちらからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_373_2.pdf

◆小学生・工業系高校生を対象に帆船「海王丸」の見学会を実施しました

◎下関海事事務所では、11 月 24 日（金）、山口県下関市内の小学生及び工業系高校生を対象に、独立行政法人海技教育機構の協力のもと大型練習帆船「海王丸」の見学会を開催しました。

◇内容

・午前の部は九州海事広報協会との共催により実施し、下関市立豊東小学校 5 年生 35 人が参加。

海王丸船長の挨拶に続き、日本船長協会から「船で働く人々」について講演を聞いた後、操舵室など船内の主要な箇所を見学。

・午後の部は、山口県立下関中央工業高等学校 機械・造船科（造船コース）3 年生 25 人、下関工科高等学校 機械工学科造船コース 2 年生 10 人が参加。

海王丸の概要説明を受けた後、船内を見学。機関部の仕事や、帆船特有の構造・設備の説明を受け、最後に船舶の推進動力の歴史やマリンエンジニアの仕事についての講演を聴講。

◇九州運輸局からのメッセージ

・見学終了後、児童からは「日本の貿易量の99.6%が船で運ばれていることに驚いた」「船員には船長や機関長など役割がいっぱいあることがわかった」「船の学校に行って勉強するのは大変だと思うけど船の仕事もいいなと思った」などの感想が寄せられました。

また、高校生からは、「なぜ、本船の甲板には木が敷きつめられているのですか？」などの質問がありました。

・下関海事事務所では、海事産業の重要性や海の仕事を知らせようと、平成21年度から小学生を対象に見学会を実施しています。

海運業、造船業などの海事産業全般の人材確保のため、3年前から小中学校の先生方に海事産業への理解を深めてもらうための見学会や、工業系高校生を対象とした見学会も実施しており、今後も精力的に取り組んでいきたいと考えています。

(下関海事事務所)

◇帆船「海王丸」見学会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_373_3.pdf

2 お知らせ

◆「公共交通事故被害者等支援フォーラム」を開催します

◇国土交通省では、公共交通事故被害者等支援室を設置し、公共交通事故により被害に遭われた方への支援を行っており、今般、航空機事故被害者の家族の立場や犯罪被害者支援の立場から講演いただくフォーラムを開催します。

日時：平成30年1月25日(木) 14:00~17:00 (受付：13:15~)

場所：福岡合同庁舎新館7階九州運輸局海技試験場(福岡市博多区博多駅東2-11-1)

参加費：無料

プログラム：

①講演「いのちの授業」8・12連絡会事務局長 美谷島 邦子 様(日航ジャンボ機墜落事故被害者ご遺族)

②説明「公共交通事故被害者等支援の現状」国土交通省総合政策局安心生活政策課

③講演「福岡県警察における犯罪被害者支援の取組みについて」福岡県警察本部総務部 被害者支援・相談課 宮原 務 様

◇フォーラムへの参加をご希望される方は、こちらからお申込みください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_373_4.pdf

(交通政策部 消費者行政・情報課)

◆大分市で「企業物流セミナー」を開催します

◇九州運輸局では、長時間労働やドライバー不足が深刻化する中、トラック運送事業の働き方改革を進めるため、取引環境の適正化や生産性の向上に向けた取組みを推進しております。

今般、トラック運送事業者が荷主企業とも連携した取組が一層促進されるよう、(公社) 大分県トラック協会と共催で「企業物流セミナー」を開催します。
本取組は、広範な関係者に対して普及啓発を図っております。関係者の方々のご参加をお待ちしております。

開催日時：平成 30 年 1 月 19 日 (金) 13 時 00 分～15 時 30 分
開催場所：レンブラントホテル大分 (大分市田室町 9-20)

◇セミナーへの参加をご希望される方は、こちらからお申込みください。
http://www.ota.or.jp/truck_news/upimg/361665a3207a07c585_0.pdf
(自動車交通部 貨物課)

◆タクシーの事前確定運賃の実証実験結果について
～約 7 割の利用者がまた利用したいと回答～

◇事前確定運賃の利用回数は 7,879 回、事前に入力した乗降車地から予測して確定した事前確定運賃の総額とメーター運賃の総額の乖離率は約 0.6%で、運賃はおおむね適切に予測がなされておりました。
アンケート調査によると、約 7 割の利用者が「また利用したい」と回答しており、最も多かった理由は「値段が決まっていて安心であること」でした。
また、利用者の特徴をみると、配車アプリを活用した新しいサービスは若年層を中心とした新たな顧客層への遡求に効果があると考えられます。

◇実証実験結果の詳細は、こちらから URL からご覧ください。
http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha03_hh_000274.html
(自動車交通部 旅客第二課)

◆平成 30 年 1 月から「相乗りタクシー」実証実験開始
～相乗りで、タクシー利用を割安に～

◇国土交通省は、来年 (平成 30 年) 1 月 22 日 (月) から 3 月 11 日 (日) まで、東京 23 区内で配車アプリを活用し、タクシーを相乗りで割安に利用できるサービス (「相乗りタクシー」) の実証実験を行います。

◇相乗りタクシーとは？

配車アプリを活用して複数の利用者を 1 台のタクシーにマッチング。タクシーを一人で利用するより割安な運賃で利用可能に。これにより、「タクシーの運賃は高いから」という理由で利用を控えていた方にも利用しやすいタクシーサービスを目指します。事業者・ドライバーにとっては、複数の利用者を効率的に運送することが可能になります。

◇実証実験の概要等詳細は、こちらから URL からご覧ください。
http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha03_hh_000273.html
(自動車交通部 旅客第二課)

◆「観光×IoT×知財」シンポジウムを開催します

訪日外国人旅行者が拡大するなか、IoT やビックデータを活用し、訪日外国人旅行者の属性情報や行動履歴等といった、これまで得られていなかった情報を利用することで、地域資源の付加価値を高めることやターゲットを明確にした観光戦略を策定することが可能となってきました。

今回、本シンポジウムを開催し、今後の観光戦略における観光地マーケティングやマネジメントの必要性や、最近の活用事例などを紹介、今後の観光資源のブランド化や今後の地域の観光戦略について考えてまいります。

皆様お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

日時：平成 30 年 1 月 11 日（木）（14:00～17:00（受付：13:30～））

場所：ハイアットリージェンシー福岡（福岡県福岡市博多区博多駅東 2 丁目 14-1）

お申込み方法や内容等詳細は、こちらの九州経済産業局のホームページからご覧ください。

http://www.kyushu.meti.go.jp/event/1712/171207_1.html

----- 4 九州運輸局ホームページアップ情報 -----

--- 報道発表 -----

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ -----

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報 -----

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

//////// 編集部だより //

「朝の湯に浮きてただよふ柚子の実のきんの肌へにさす日の光」ー三ヶ島霞子ー
明日（22 日）は、日没から日の出までの時間が最も長くなる「冬至」です。この日に柚子湯に入ると風邪をひかないといえます。朝、柚子湯につかるのはさぞかし気持ちいいでしょうね。冬至を境に寒さは本格的に厳しくなるといわれますが、今年はそれが少し早いようで、歳を重ねる度に運動不足(?)から筋肉が減ってしまったのか、暑さ寒さに対する許容範囲が狭くなってきてしまい、既にこの寒さヒートテック下着にしっかりお世話さまに..。

2017 年、本号が年内最後の発行となります。この一年間ご愛読誠にありがとうございました。2018 年が災害のない平和な一年で、そして皆さまにとりまして幸多き年となりますよう編集部一同心よりお祈り申し上げます。

2018 年も九州運輸局メールマガジンをどうぞよろしく願います。

◎季節の（風景）写真

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_373_5.pdf

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

//

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

Mail: gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
